

ほすびたる

No.782

令和8年1月20日
福岡県病院協会

C O N T E N T S

| 新年の挨拶 | 年頭のごあいさつ

福岡県知事 服部誠太郎 ①

新年のご挨拶

公益社団法人福岡県医師会
会長 蓮澤 浩明 ②

| 会員広報 | 第15回福岡県病院協会 参与・各種
委員会正副委員長・役員懇談会報告

公益社団法人福岡県病院協会
専務理事 壁村 哲平 ④

| Letter | 老医の戯言
その1～抗老のすすめ

国立病院機構九州医療センター 名誉院長
原土井病院 原看護専門学校 顧問 朔 元則 ⑫

| Essay | 人体旅行記 脳（その二）

国立病院機構都城医療センター
院長 吉住 秀之 ⑭

■福精協の広場 「私のリフレッシュタイム」

医療法人小倉蒲生病院
看護師 安武 竜太 ⑮

■福岡県私設病院協会 令和7年11月～12月の動き

⑯

■福岡県病院協会だより

⑰

■編集後記

岡嶋泰一郎 ⑲

Teleradiology Service. and ASP Service.

確かな診断を、より確かなものに。
ネットワークを利用した読影サービスで、
あなたをバックアップします。



Teleradiology

～遠隔画像診断サービス～
医療に地域格差があつてはならない
そう私たちは考えます。

ASP Service

～遠隔画像診断ASPサービス～
放射線科の先生方向けに、遠隔
読影システムから課金に至るまで
統合的にサービスをご提供します。

株式会社ネット・メディカルセンター

〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目24-1
九電工福岡支店ビル6階
フリーダイヤル：0120-270614 FAX:092-533-8867
ホームページアドレス <http://www.nmed-center.co.jp/>

病院寝具・病衣・白衣・タオル及びカーテン・ベットマットのリース・洗濯
入院セット・患者私物衣類の洗濯・紙おむつ販売・給食・配茶

福岡県私設病院協会グループ

福 岡 医 療 関 連 協 業 組 合

理事長 中尾一久

専務理事 津留 英智
理事 江頭 啓介
理事 松村 順
理事 木村 寛

理事 鬼塚 一郎
監事 田中 圭一
監事 横倉 義典
事務局長 日比生英一

〒811-2502 糧屋郡久山町大字山田1217-17
TEL(092)976-0500 FAX(092)976-2247



Clean & Comfortable
清潔さと快適さを追求します





年頭のごあいさつ

福岡県知事

服部 誠太郎



新年あけましておめでとうございます。公益社団法人福岡県病院協会の皆様には、日ごろから地域医療の向上や県民の健康増進にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

昨年は、福岡に世界的なスタートアップ支援機関である「CIC Fukuoka」やインド総領事館が開設され、福岡が世界との結びつきを強め、チャレンジしていくための架け橋となっています。

また、BMX、クライミング、ブレイキンといったスポーツの国際大会を開催し、新たなスポーツの力が県民の皆様にたくさんの元気と感動を与えてくれました。新たな武道館も竣工し、今年から武道をはじめとするスポーツ振興の新たな拠点としてスタートします。

さらに、令和8年4月からは10年ぶりに県庁の組織を再編し、職員一人一人、さらには組織としての力を最大化して、物価高などに対応する国の経済対策を最大限に活用して県民生活や事業活動をしっかりと支えながら、先送りできない課題に真正面から取り組んでまいります。

さて、現在、国においては、医療・介護の複合ニーズを抱える85歳以上人口の増大や現役世代の減少等に伴う医療需要の変化に対応できるよう、2040年頃を見据えて、高齢者救急や外来・在宅医療、介護との連携等を含む医療提供体制全体の最適化・効率化を目指す「新たな地域医療構想」が検討されています。

県においても、これまでの取り組みの振り返りや新たな地域医療構想策定に向けた議論な

ど、県病院協会をはじめとする医療関係団体の皆様から、医療審議会や各区域における地域医療構想調整会議などを通じて貴重なご意見をいただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今後、国から新たな構想の策定・推進に関するガイドラインが示され、来年度以降、策定に向けた協議が本格化してまいります。県としても、全力で取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、県としましては、県民の皆様がいつでも、どこでも、安心して必要な医療サービスを受けることができる医療提供体制、地域包括ケアシステムの構築に引き続き取り組むとともに、「健康寿命」を延ばし、生涯にわたり長く元気に暮らしていくため、県民一人一人が改めて自身の健康について考え、健康の維持、増進に取り組んでいく「ふくおか健康づくり県民運動」を進めています。

今年は午年です。本年も、馬が疾走するがごとく、さまざまな施策をスピード感をもって実行し、未来へと駆け上がる飛躍の年となるよう全力を尽くしてまいります。

新年が貴会ならびに会員の皆様にとって、素晴らしい一年となりますよう心からお祈りいたします。



新年のご挨拶

公益社団法人福岡県医師会

会長 蓮澤 浩明



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかに新春を迎えたこととお慶び申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。

昨年を振り返りますと、7月に行われた参議院議員選挙において、日本医師会副会长・釜范敏先生が大逆風の中にもかかわらず、社会保障関係でトップ当選を果たされたことは、私達にとって大きな励みとなりました。

近年の急激な物価高騰や賃金上昇により、地域医療を担う医療機関の経営は大変厳しい状況に陥っています。病院の7割が赤字経営との調査結果も出されるなど、まさに非常事態です。2025年も、前年に引き続き医療機関の倒産や廃業が続き、このまま推移すると地域医療の崩壊が起こるのではないかと危惧されていたところ、昨年12月に国の2025年度補正予算が成立し、「医療・介護等支援パッケージ」として、1兆3,649億円、このうち医療分野に1兆368億円が計上されました。このほか救急件数加算や大学病院への文部科学省からの補正予算も示されています。また、昨年末に政府は2026年度診療報酬改定を3.09%増とし、介護報酬も臨時改定を行い2.03%増とする方針を固めました。今後は、中医協で具体的な議論が進められることになりますが、国民医療を守るために闘い続けて来られました、日本医師会の松本吉郎会長をはじめ役員並びに医療関係団体の皆様のご尽力に深甚なる敬意を表します。

これらの対策の評価については、今後検証していくことになりますが、この度、国が医療の現状に理解を示したことを励みに、私達は必要

とされる地域医療の確立に取り組んでいきたいと思います。

医療は個人の健康を守ることだけではなく、社会全体の安定と発展を支える基盤であり、医師会の役割は、行政と連携しながら地域で医療を守る仕組みを構築することにあります。福岡県では、人口構造の変化や医療ニーズの多様化とともに都市部と中山間地域における医療資源の地域間格差等による構造的課題に対して、急性期から在宅医療までのシームレスな連携を軸とした実効性のある対応が求められています。これからの中高齢社会においては、限られた医療資源を適切に活用するために、かかりつけ医機能の充実による医療・介護の連携が必要不可欠となります。

福岡県医師会は、新たな地域医療構想においては、既存の医療圏の在り方や市町村ごとの医療資源の特色を踏まえ、各医療機関の役割分担、多職種連携、ICTの利活用も視野に入れた医療提供体制の構築を目指した提案をまとめまいりたいと考えております。

今年は「丙午」の年であります。躍動や前進を象徴し、勢いが重なることで物事が大きく動く年とも言われています。福岡県医師会は、社会全体が急速に変化する今、躍動・転換のこの一年を、地域の医療を発展させる前向きな改革の機会として捉え、様々な課題に力強く立ち向かってまいります。

本年も多くの医療関連団体のご支援・ご協力を切にお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝と更なるご活躍を祈念し、新年のご挨拶といたします。

第15回 福岡県病院協会 参与・各種委員会 正副委員長・役員懇談会報告

◎公益社団法人 福岡県病院協会 専務理事 壁村 哲平

日 時 令和7年12月2日(火) 17時~18時
場 所 オリエンタルホテル福岡 博多ステーション3階
オリエンタルボールルーム恵比寿
(福岡市博多区博多駅中央街4-23)
出席者 病院協会参与7名、各種委員会正副委員長
16名、役員21名(うち委員長の再掲1名)
計43名

平副会長が挨拶の後、座長となって議事を進めました。

1 参与の紹介(壁村専務理事)

当日出席された参与(濱田正美参与、後藤涉参与、大島輝久参与、吉田龍太郎氏(井上和之参与代理)、野田部哲也参与、酒瀬川泰裕参与、斎藤幸奈氏(鶴加寿子参与代理))の方々を順次御紹介し、参与からは挨拶いただきました。

2 第16回県民公開医療シンポジウムの報告

運営委員長 岩永 知秋

公益社団法人福岡県病院協会 総務理事
久山療育園重症児者医療療育センター センター長

テーマ 「健康で長生きするためのヒントーあなたの体力、睡眠、そして肺炎の予防は?ー」

開催日時 令和7年9月27日(土) 14時~16時

会 場 アクロス福岡 国際会議場

参加者 80名

講演1 「フレー、フレー、フレイル知らずの明るいシニア生活のために」

特定医療法人社団三光会

誠愛リハビリテーション病院

院長 長尾 哲彦 先生

講演2 「良い睡眠のために」

国立病院機構福岡病院睡眠センター

前センター長 中野 博 先生

講演3 「肺炎とその予防」

産業医科大学 副病院長

産業医科大学医学部呼吸器内科学 教授

矢寺 和博 先生

開催概要

講演1では、参加者にフレイルの診断基準の一つである握力を、予め受付の前で測定していただきました。「フレイル」は健康な老化と要介護状態の中間の状態であり、心身の老化に伴う衰えは運動や栄養などにより回復が可能であること、社会とのかかわりあいがフレイルの防止に大切であることを話され、参加された皆さんを勇気づける内容でした。

講演2では睡眠は時間ではなく、睡眠休養感、睡眠満足感がより重要であること、睡眠に至るまでの環境や心身のリラックスに心がけ、無理に眠ろうとしないことが強調されました。また、睡眠時無呼吸症候群の睡眠時のいびきと無呼吸の実際を、印象的な音声と動画で示されました。

講演3では高齢者の肺炎は症状に乏しいが、早期の診断と治療が重要であること、口腔の衛生、誤嚥が起こす肺炎、感染の予防などを丁寧に説明されました。また肺炎のほか、間質性肺炎、肺結核、気道感染症の病態を、わかりやすくイラストで示されました。

それぞれの講演の後に質疑応答が行われましたが、参加の方々から活発な質問をいただき会場は大変盛り上がりいました。シンポジウムに関する印象についてアンケート調査を行いました(回収率90%)が、大変高い評価をいただくとともに、多くに人に聞いてもらいたい内容であった、と励ましの声もいただきました。ご講演いただきました先生方、参加の皆様、また事務局をはじめ運営にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。また、広報についてご尽力いただきました西日本新聞社報道センター編集委員の鶴加寿子様に、深く感謝申し上げます。

3 各委員会の報告

ア) 病院研修会

病院委員会 委員長 壁村 哲平
福岡県済生会二日市病院 院長

令和7年度は、大変厳しい病院運営を強いられている中、骨太の改革2025や新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2025改訂版(成長戦略)が描く未来を共に考え、地域に立脚する価値ある病院を目指すため、テーマに『病院経営苦難の時代を乗り越える!』を掲げ、希望が湧く講演会を企画した。令和7年11月6日 西鉄イン福岡2階大ホールで112名の参加をいただき開催した。テーマに沿って、講演1は、島先生から、現状の医療状況、医療環境の変化、令和8年度診療報酬改定の方向性等の説明に続き、現状のなかなか明るい未来が見通せないVUCAな時代には、経済的価値と社会的価値の両立を図るCSV経営戦略の重要性の講演をいただいた。講演2は、織田先生から、地域医療を取り巻く政策環境の変化に対して地域における望まれる病院の姿など最適な方向性を見定め、課題の解決のために多くのICT、IoTやAIを活用し、日常業務の簡略化・効率化を図り、病院全職種が共に取り組む活動、さらにテクノロジーを利用した「在宅医療支援DX」活動などの報告があり、急激な病床削減や人材不足を抱える地域医療の医療経営の姿を示された。講演3は、塚越さんから、これからの病院経営は「経営改善」、「医療の質向上」と「働き方改革」を両立し続けることが求められ、入院前から切れ目のない支援を加算項目の流れを意識して取り組むことや、地域連携分析を戦略的に取り組み、地域での自院の目指すポジショニングを検討すること、さらに限りある資源を有効利用するためには業務負担軽減が必要であることなどアグレッシブに講演いただいた。最後に質疑応答で、コンサルタントとして初めて病院を訪問したとき、最初に確認することは何かとの問い合わせ、「理事長や院長の姿勢」との返答であり、改めて病院研修会の必要性を確認した次第であった。

〈プログラム〉

テーマ 「病院経営苦難の時代を乗り越える！」
講演1 『VUCAの時代の医療戦略』
演者 島 弘志 先生 (一般社団法人日本病院会

副会長 社会医療法人天神会 総病院長)
座長 渕野 泰秀先生 (社会医療法人財団白十字会白十字病院 病院長)
講演2 『攻めながらソフトランディング』
—ハコモノからヒトへ、そしてテクノロジーへ—
演者 織田 正道 先生 (佐賀県病院協会 会長
社会医療法人祐愛会織田病院 理事長)
座長 渡邊憲太郎 先生先生
(医療法人西福岡病院 院長)
講演3 『不確実性の時代:3つの視点で生き残れ！
「病床管理 PFM」「戦略的増患」「働き方改革」～筋肉質医療とデータ活用術～』
演者 塚越 篤子 氏 (株)グローバルヘルスコンサルティング部門シニアマネージャー)
座長 壁村 哲平 先生 (公益社団法人福岡県病院協会 専務理事、福岡県済生会二日市病院 院長)

イ) 看護研修会

看護委員会 委員長 甲斐 純美
福岡大学病院 副院長・看護部長

少子高齢化により医療需要は増加する一方で、看護職員の確保・定着が困難となり、医療現場の負担はますます大きくなっています。さらに、医師の働き方改革に伴うタスクシフトや多職種連携の推進により、看護管理者には変化に柔軟に対応する力と、戦略的なマネジメントが求められています。こうした状況を踏まえ、看護委員会では、現場力を高めることができる看護管理者の育成と、さまざまな場で働く看護職の看護実践能力の強化を目的に、今年度の研修を企画・実施いたしました。今年度もオンデマンド配信を取り入れ、多くの方に参加いただきました。研修内容としては、昨年度同様の診療報酬に関連しニーズも高い「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修」と「認知症看護実践力向上研修」を実施しました。また、オンデマンド配信では、現場力を高めるための「心理的安全性」や「ワークエンゲージメントの向上」についての講演も行いました。すでに終了した2つの研修では、アンケート結果からも、受講生の満足度は高く、次年度もニーズに即した内容で研修を企画してまいります。

【令和7年度】

第173回看護研修会（Web開催）

セミナー配信 令和7年6月27日（金）

13：25～15：45

オンデマンド配信 令和7年6月28日（土）

～令和7年7月7日（月）

テーマ 「現場力を高める組織マネジメント」

講 師 ポテンシャルビジョン代表 山本武史

参加者 256名

第174回看護研修会（令和7年10月24日（金）開催）

会 場 ナースプラザ福岡

テーマ 「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修」

講 師 日本看護協会役職員、ファシリテータ福岡県病院協会看護委員会委員

共 催 公益社団法人福岡県看護協会

参加者 100名

第175回看護研修会（令和8年1月28日（水）・29日（木）予定）

会 場 九州大学医学部百年講堂

テーマ 「認知症看護実践力向上研修Ⅲ」

講 師 福岡大学病院精神性神経内科医師
飯田 仁志

久留米大学病院老人看護専門看護師
首藤 敏夫

九州大学病院認知症看護認定看護師
立石 圭

飯塚病院認知症看護認定看護師
瓜生 矩子

国家公務員共済組合連合会浜の町病院

認知症看護認定看護師 星野 清子
医療法人相生会金隈病院

認知症看護認定看護師 宮原 あや

ウ) 診療情報管理研究研修会

診療情報管理研究委員会 委員長 西山 謙
九州大学病院 病院長特任補佐

【研修会の概要】

- 本研修会は、岩崎理事・本村理事のご指導のもと、診療情報管理の質向上を目的として継続的に開催されています。
- 対面研修およびグループワーク研修は、病院間の情報共有を促進し、診療情報管理業務の

底上げを図ることを目的としています。

【令和7年度 対面研修会】

日 時 令和7年9月22日（月）13:00～17:00

場 所 九州大学 百年講堂大ホール

参加者 108名

- テーマを「原点回帰→病院経営・DPCについて考える」

病院経営が厳しさを増す中、改善の糸口を探るべく、既に取り組みを進めている医療機関の事例を参考にしながら、研修と情報共有を通じて日々の業務改善に繋げることを目指す。

【令和7年度のグループワーク研修会内容】

- ・ 第1回：日時 令和7年6月24日（火）

14:00～17:00

場所 九州大学 百年講堂中ホール

参加者 48人

- ・ 第2回：日時 令和7年11月19日（水）

14:00～17:00

場所 九州大学 百年講堂中ホール

参加者 30人

- ・ 第3回：日時 令和8年2月19日（木）

14:00～17:00 予定

場所 九州大学 百年講堂会議室

- 本研修では、各医療機関の診療情報管理担当者が複数のグループに分かれ、現場での悩みや課題を共有し、経験をもとに解決策を検討・議論を行う。

各医療機関では1人担当者が多く、医療機関を超え、福岡での仲間を通して、運用・ルールづくりでの意見交換、アドバイスをもらい、日々の業務に反映できるように勉強できる環境を目指す。

【今後の展望】

- 病院経営が厳しい状況だからこそ、診療情報の分析を通じて医療機関に貢献できるような研修を継続していくことが重要である。
- 実務者が抱える多くの課題に対し、本研修会が福岡県内の診療情報管理分野において実効性ある支援となるよう、委員会一丸となって取り組んでまいります。

参考

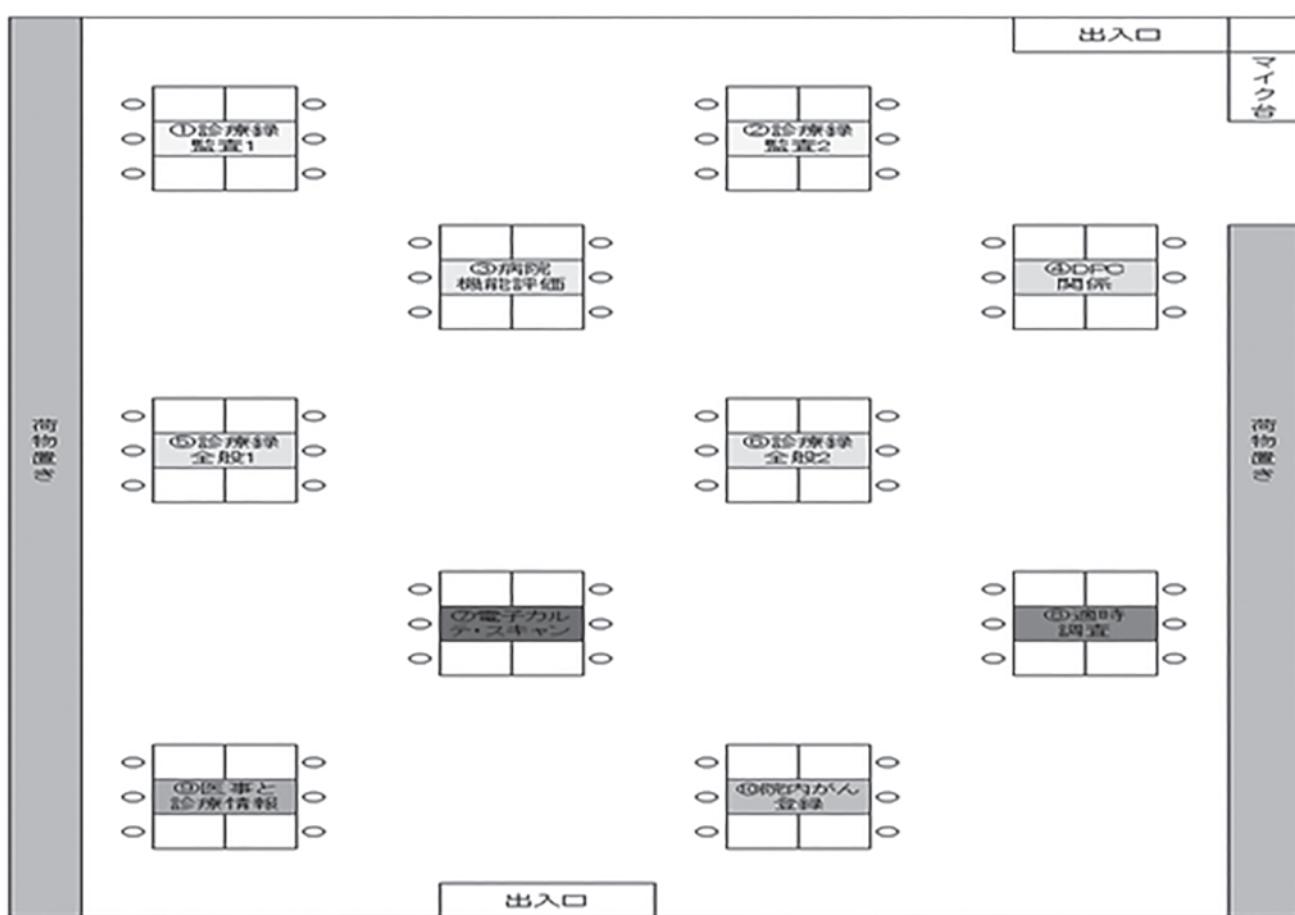
当研修会が取り扱う一例（キーワード）

- 電子媒体・紙媒体の記録（保管／スキャン含む）
- DPC 等の保険診療に関する診療情報・記録
- 医療の質に関する診療情報・記録（がん登録含む）
- データの精度管理（コーディング含む）・データ二次利用
- 医療安全に関する記録
- 病院経営に関する診療情報
- 医療 DX に関する事項

グループワークの風景



グループワーク座席表



二) 栄養管理研修会

栄養管理委員会 委員長 倉橋 操
福岡大学病院 栄養部 技師長

〈令和7年度栄養管理研修会開催報告〉

高齢化が進展する現代社会において、人々の健康維持と生活の質（QOL）向上における栄養管理の役割は、極めて重要性を増しております。この背景を踏まえ、栄養管理委員会は、「高齢化社会における健康を支える多角的アプローチ」をメインテーマに掲げ、第73回研修会を開催いたしました。本研修会では、高齢者の皆様のQOL向上に貢献するため、3つの専門分野からの視点を取り入れ、最新の知見に基づいた知識と技術を深める内容で構成いたしました。

〈第73回栄養管理研修会〉

- ・開催日 2025年10月18日（土）
- ・開催形式 Web開催（配信後にオンデマンド配信を実施）
オンデマンド配信 令和7年10月19日（日）～10月24日（金）
- ・参加者数 53名

講演内容

1. 「緩和ケアにおける『食べる』の意味を見つめ直す」
➤ 講師 福岡大学病院 がんセンター
緩和ケア認定看護師
堀田 綾美先生
2. 「糖尿病と認知症の早期発見、早期関与」
➤ 講師 医療法人相和会中村病院
医師 森田 喜一郎先生
3. 「高齢糖尿病患者の食事・運動・薬物療法」
➤ 講師 医療法人輝栄会福岡輝栄会病院
糖尿病・肥満症センター
センター長 田尻 祐司先生

〈アンケート結果と今後の展望〉

会後に実施したアンケート調査の結果、各講演について「とても良い」「良い」の評価が約90%と、大変高い満足度を示す結果となりました。

参加者からは、「今回の研修は、医療者として、患者様との向き合い方を考える大変良い機会になりました。非常に参考になりました。」といった、具体的な感想も頂戴しております。この結果から、本

研修会が参加者の皆様にとって、実り多い機会を提供できたものと確信しております。

頂戴したアンケート結果を基に、今後の研修内容はもとより、開催方法等についても引き続き検討を進め、参加者の皆様により一層ご満足いただける研修会となるよう、計画を推進してまいります。

才) 臨床検査研修会

臨床検査委員会 委員長 森 健一
社会医療法人財団白十字会 白十字病院
臨床検査技術部 部長

第9回臨床検査研修会を2025年1月25日（土）に開催し、テーマを「災害、高齢化、そして働き方改革～臨床検査の新たな挑戦と求められる対応を考える～」としました。講演内容は、1) 災害時医療の役割からテロ災害時の対応、2) 骨粗鬆症の予防・診断・治療における多職種連携と地域連携の重要性、3) タスク・シフト／シェアへの取り組みとして、静脈路の確保について現場の立場から実際の運用とメーカーの立場から安全な穿刺へ向けての内容で3講演4名の先生に講演して頂きました。今回も現地参加人数が少なく、参加者アンケート集計でも、Web開催希望が大多数となっています。

今後の研修会は、Web開催を主体として多くの皆様に参加して頂けるようより良い内容にしていきます。

1 研修会開催報告

〈第9回臨床検査研修会〉

- 開催 令和7年1月25日（土）
13:25～16:30
会場 国家公務員共済組合連合会
浜の町病院3階研修講堂
ハイブリッド開催
(現地開催+Webオンライン)
テーマ 「災害、高齢化、そして働き方改革～臨床検査の新たな挑戦と求められる対応を考える～」
講演1. 災害時医療の役割
～災害、テロ等含む～
講演2. 骨粗鬆症の予防、診断、治療
～多職種連携と地域連携の重要性～
講演3. タスク・シフト／シェアについて
～静脈路の確保～

1) タスク・シフト / シェアへの取り組み
～採血業務における静脈路確保～

2) 末梢静脈血管へのアクセス

参加者 43名

2 研修会開催予定

〈第10回臨床検査研修会〉

開催 令和8年3月7日(土)

13:25～16:30

会場 Webオンライン開催

テーマ 「臨床検査2026:変わる制度、広がる現場、新たなる発想」

講演1. 2026年度診療報酬改定のポイント

講師 株式会社FMCA

代表取締役 藤井昌弘氏

講演2. 医療DXとAIが臨床検査に与えるインパクト

講師 富士フィルム和光純薬株式会社

臨床検査薬事業部 臨床検査薬営業本部
営業推進部 営業推進課課長

細川秀明氏

講演3. タスク・シフト/シェアについて
～救急外来への関わり～(仮題)

講師 (調整中)

カ) リハビリテーション研修会

リハビリテーション委員会 委員長 松瀬博夫
久留米大学リハビリテーションセンター
センター長

1 第22回リハビリテーション研修会(予定)

開催日 令和7年12月20日(土)

会場 『西鉄イン福岡』2F大ホール

テーマ 「がん医療と地域リハビリテーションの架け橋:共生時代の連携強化を目指して」

基調講演

「がん共生時代のがん患者へのリハビリテーション医療地域包括ケアにおけるそれぞれの役割 一活動を育むー」

講師: 社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院
リハビリテーション科 診療部長 相良亜木子先生

シンポジウム

「がんとの共生時代に求められる地域リハビリテーションの役割と実践」

(1) 「がん患者さんを支えるリハビリテーション
～看護師の視点から～」

講師 国立病院機構福岡東医療センター

看護師長・がん専門看護師

土井晴代先生

(2) 「地域連携におけるがんリハビリテーション」

講師 久留米大学病院

リハビリテーション部 理学療法士

中村光希先生

(3) 「その人らしい生活を支援する地域リハビリテーション～作業療法士の視点から～」

講師 医療法人原三信病院

リハビリテーション科 作業療法士

黒木勝仁

(4) 「がん患者と地域をつなぐ～ソーシャルワーカーの視点から～」

講師 国立病院機構九州がんセンター

がん相談支援センター

ソーシャルワーカー 松尾由佳先生

2 第23回リハビリテーション研修会(予定)

開催日 令和8年3月9日(月)

会場 九州大学医学部百年講堂

テーマ 「令和8年度診療報酬改定に向けたリハビリテーションの在り方」

講師 社会医療法人水光会宗像水光会総合病院
理事長 津留英智先生

キ) 経営管理研究会

経営管理委員会 委員長 中島克洋
福岡県済生会福岡総合病院 事務部長

1 令和7年度 委員会開催報告

令和7年度第1回経営管理委員会(令和7年6月23日開催)

協議事項

- ・委員の交代について
- ・令和6年度経営管理研究会報告
- ・令和7年度経営管理研究会の開催について
- ・その他

2 研究会開催報告

令和6年度第1回経営管理研究会

・開催日時 令和7年2月17日(月)

13:30～16:00

・会場 九州大学医学部百年講堂

- ・テーマおよび講師、座長
「新しい地域医療の構想」
講師 産業医科大学医学部公衆衛生学
教授 松田 晋哉 先生
- 「診療報酬改定を受けての病院経営」
講師 社会医療法人天神会総病院院長
島 弘志 先生
- 座長 公益社団法人福岡県病院協会
担当理事
社会医療法人水光会宗像水光会
総合病院 理事長 津留 英智 先生
- ・参加者 122名

3 研究会開催予定

- 令和7年度第1回経営管理研究会
- ・開催日時 令和8年3月16日(月)
13:30～16:00
 - ・会場 九州大学医学部百年講堂
 - ・テーマおよび講師
「新たな地域医療構想を踏まえた2026年度診療報酬改定のポイント」
講師 社会医療法人水光会 宗像水光会総合病院 理事長 津留 英智先生

ク) 医療事務研究会

医療事務委員会 委員長 長島 永青
国家公務員共済組合連合会浜の町病院
医事課 医事専門役

1 令和7年度 委員会開催報告

令和7年度第1回医療事務委員会(令和7年6月30日開催)

協議事項

- ・委員の交代について
- ・委員長の選任について
- ・令和6年度医療事務研究会報告
- ・令和7年度研修計画
- ・その他

2 研究会開催報告

第124回医療事務研究会

開催日 令和7年3月14日(金)

会場 九州大学医学部百年講堂

テーマI『人工知能はレセプトチェックの救世主!!～AI活用の現場報告～』

講演1 「北九州市立八幡病院の医療DXの取

り組み～AIレセプトチェック導入報告～」

講師 北九州市立八幡病院

経営企画課長 木戸 啓介 先生

講演2 「福岡和白病院の医療DXの取り組み～レセプトAIチェック～」

講師 福岡和白病院

医事課長 光永 篤史 先生

テーマII『審査』

講演1 「最新の審査方法とこれからの審査基準～審査の広域化とAIの導入、国保との審査基準の統一化～」

講師 福岡県社会保険診療報酬支払基金
審査委員会審査調整役
高木 誠一郎 先生

参加者 109名

3 研究会開催予定

第125回医療事務研究会

開催日 令和8年3月26日(木)

会場 九州大学医学部百年講堂

テーマ 「2026年度診療報酬改定について」

(仮題)

講師 (株)リンクアップラボ

代表取締役 酒井 麻由美 氏

4 参与のご意見

ア 濱田正美参与（福岡県看護協会 会長）の ご意見

●資料の研修会の参加者数を見ていますが、看護研修は多いのは多いですが、他の委員会の中味を見ますと質に特化した研修のテーマを選んでるんだなと思いました。看護研修に関しては、管理者の分と診療報酬の分を押さえています。やはり診療報酬は大事ですので、2本立てで今後ともやってもらわればと思います。他の職種の研修に関しては、今の病院経営に直結したホットなテーマを選んでいただいているので、もっと広報をしてたくさんの方に来ていただければいいなと思っています。

イ 後藤涉参与（福岡県薬剤師会 副会長）の ご意見

●今日は様々な委員会、研修会の取組を聞かせていただきありがとうございました。病院現場で

人材の確保に苦労されていることを、今日改めて理解させていただきました。診療報酬改定、今度の補正予算にはかなり期待していますが、これをいかに確保し、さらに人材の確保、病院経営の効率化につなげるか、様々な課題があると改めて感じたところです。ただ、どの委員会も非常に前向きに取り組んでおられることを大変心強く感じました。今後とも、様々な取組を聞かせていただきながら、薬剤師会としても共に地域医療の推進にあたれればと思っています。

ウ 大島輝久参与（福岡銀行地域共創部長）のご意見

- 本日のご報告を聞き、様々な角度からテーマが設定されてるなど感じました。

当行は、地域の金融機関として、多くの中小企業、オーナー様と取引をさせてもらっていますが、行きつくところは、人事、経営マネジメントなのだとということを再認識しました。地域共創部は、行政を窓口に担当する部署になりますが、今後医療機関の経営状況への行政側の認識について意見交換する場も予定していますので、今後の金融と行政機関と一体となった取組に生かしていければと思っています。

エ 吉田龍太郎氏（西日本シティ銀行井上参与の代理）のご意見

- 先週経済対策である程度予算がつきましたし、診療報酬10%以上増を獲得してもらえばいいなと思っています。取引先をまわっていると、ワーキングマネージメントに関するご相談が多いの現状です。皆様方も離職防止に腐心されていると思いますが、お手伝いしている病院で、職員のアンケートをとったところ結果はなかなかなものでした（笑）。銀行としてもお伝いができればと思っていますので、よろしくお願いいたします。

オ 野田部哲也参与（福岡県弁護士会 弁護士）のご意見

- 初めて参加させていただきましたが、たくさんの研修会を開催しご尽力されているんだなと感心しました。その中で、診療報酬が病院経営に

与える影響は極めて大きいことが切実に伝わってきました。病院経営が診療報酬だけで決まるものではなく、診療報酬の影響を受けながらも各病院で改善していくこと、あるいは医療、サービスの向上に努めようと努力されている姿勢は志高く意義深いと思いました。先日日経新聞で病院の7割が赤字と報道されていて、新聞報道等が診療報酬改定にも影響する状況なんだと思います。病院側は経営努力をした上で改定を求めているということをマスコミに伝え社会的に認知してもらい、病院側の努力が反映されるような記事になるようご尽力していただけたらいいのかなと思います。

カ 酒瀬川泰裕参与（日本公認会計士協会北部九州会公認会計士）のご意見

- 今日の報告で気になる2つのキーワードがありました。1つは、経営が厳しいということ。2つ目がA1の活用です。売上の向上が厳しいなか、対策としてはどうしてもコストの削減という話になります。私の業界では、本当にA1との相性が良くて、A1を活用することで業務の効率化を圧倒的に図っています。病院で同じようにできるか難しいところはあると思いますが、事務部門ではA1を活用することで業務改善が進むところがあると思っています。私自身も、他の事務所と共同で勉強会を開きA1で改善できるところを協議させてもらうことで業務に役立てています。まだ出始めでどんな業務に使えるか定まっていないと思いますが、大いに役立つ可能性はありますので、ぜひ興味をもっていただけたらと思います。

キ 斎藤幸奈氏（西日本新聞社鶴参与の代理）のご意見

- 業務がお忙しいなかで、さらに専門性を高めていこう、皆さんで連携して運営を良くしていくという取組を多岐に渡ってやられていることがわかって勉強になりました。私自身は、西日本新聞の朝刊の医療面（毎週月曜日）を担当していますが、3つの柱を掲げています。1つ目は「病む人に寄り添う」、2つ目は「医療者と患者の距離を縮める」、3つ目が「持続可能な地域医療のあり方を考える」です。これら柱の

もとに取材活動をしています。正に2つ目の柱の「医療者と患者の距離を縮める」というところでは、本日皆さんから報告いただいた取組をしていることを患者さんが知らないような部分もたくさんあると思いますので、仲介役になってうまく発信していけたらいいなと思っています。今後ともよろしくお願ひいたします。

●壁村専務理事は、まず報告を行っていただいた正副委員長等並びに貴重な意見をいただいた参与の方々に謝意を述べた。続いて、「昨年の

懇親会でいただいた意見を基に昨年から参与の方々に研修会等のご案内をしていますが、西日本新聞の鶴参与には県民公開医療シンポジムを取材し記事にしていただいたことに感謝申し上げます」と感謝の意を表した。

最後に、「病院協会の取組は全ての病院、全ての職員あげて改善に取り組んでいるものであり、参与の皆様からの助言を参考にさせていただき、より良い研修会にしていきたいと思います」と決意を述べて、懇談会は終了した。



医療・福祉、介護など全ての医療環境をサポートします

サービス内容

- ・医療機器、医療器具、医療消耗品の販売
- ・病院給食に関連した業務用食材及び厨房器機等の販売
- ・病院、介護施設に関する工事及び物品の販売
- ・臨床検査・水質検査・検便検査から食中毒検査などの検査
- ・看板、チラシ、インターネット等を利用した広告作製

これまで培ったノウハウを生かし、開業前の構想～開業後の施設経営まで九州・沖縄の医療機関、介護施設などの経営を全力でサポートいたします。

有限会社 DMS
(ドリーム・メディカル・サービス)

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号3F
TEL:092-525-7666・7667 FAX:092-525-7668

福岡県精神科病院協同組合

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号2F
TEL:092-521-0690 FAX:092-524-4632

Letters from an aging surgeon

老医の戯言たわごと その1～抗老のすすめ

国立病院機構九州医療センター 名誉院長
原土井病院 原看護専門学校 顧問 朔 元則

米寿を迎えて

令和8年（2026年）1月、私は無事満87歳の誕生日を家族と共に祝うことが出来た。満87歳を昔風に表現するならば米寿である。米寿という言葉が何時頃から使われ始めたかということをネットで検索すると、「奈良時代」と「江戸時代」という二つの回答が出てきた。しかし私は奈良時代説は間違いであろうと思っている。

杜甫（712年～770年、58歳で死去）が47歳時に発表した詩「曲江」に書かれている「人生七十古来稀」という一節に因んで、70歳のことを古稀（最近は古希と書かれることが多いが、私には大きな違和感がある）と表現するようになってから、「漢字を日本独特の方法で分解して米寿（米という字を分解すると八十八になる）、喜（㐂）寿、卒（卒）寿、白（百から一を引く）寿などの言葉が生まれた」のではないかと私は考えている。もしも米寿という言葉が奈良時代起源なら、枕草子や源氏物語の中にもこの言葉が登場してきてても良い筈であるが、そのような表現は全く見られない。

米寿の語源談義はともかくとして、ひと昔前までは米寿を祝うことが出来る老人はほんの一握りの数でしかなかった。私の父は50歳で脳出血を発症、3年余の寝たきり生活の後満54歳で死去した。祖父二人は35歳（肺結核）と32歳（詳細不明の感染症）、二人の叔父は38歳（直腸癌）と73歳（肺癌）で、兄は84歳（肺癌）と69歳（食道癌）で死去している。朔家のDNAを引き継いでいる男性子孫のなかで、米寿を迎えることが出来たのは私が最初である。朔家男性の長寿記録を私が日々更新していることになる。

加齢による変化は相対的

私達人間は動物界、脊索動物門、哺乳綱、靈長目、ヒト科、ヒト属、ヒト種に分類される動物、Homo sapiens（賢いヒト種という意味、ラテン語）である。動物である以上ヒトは必ず死ぬ。動物にとって死は絶対的なものであり、どうしようもないものである。しかし「誕生」と「死」という絶対的なものの途中にある「加齢による変化」は、人それぞれで異なる全く相対的なものではないだろうか。

「加齢による変化」の中には、私達が生きていく上でプラスになるものとマイナスになるものが存在する。しかし圧倒的に多いのは「老化」と表現されるマイナスに作用する現象であろう。若い頃には何でもなく簡単に出来ていたことが、知らぬ間に力を尽くしても出来なくなっていることは、私達が日常生活においてよく経験することである。

私のような老人にとってまず大事なことは、老いることによって失われるものを出来るだけ少なくすることと、老化のスピードを遅くすることではないだろうか。その方策として第一に挙げるべきことは、「若さに任せて強行していた無理な行為を慎むこと」とともに、「若い時に行っていた良い習慣を止めないこと」であろうと私は思っている。

書き続け、演じ続けながら

私は身近な朔家の男性親族達から「老人学」を学ぶことはできなかったが、私の周囲には素晴らしい老後の生活を過ごされた人達で溢れている。満99歳の白寿まで彫鑄かくしゃくとして御活躍された恩師井口潔九州大学名誉教授（令和3年9月5日御逝去）をはじめ、卒寿を過ぎてもなお現役生活を続

けられながら令和7年10月16日に満93歳で素晴らしい人生を全うされた畏友・原寛原土井病院理事長、米寿を過ぎた現在でも元気に日常診療や社会活動に励んでいる先輩や友人達である。

井口先生は教授職を定年退官された後も、執筆活動や講演活動をお止めになることはなかった。内容が外科学に関する事から教育に変わっただけで、執筆や講演の頻度は現職教授時代より退官後の方が多かったように思っている。

原さん（学生時代からいつも「原さん」と呼びかけていた）も若い頃から執筆活動や講演活動に励んでこられて、たくさんの本を出版されていたが、高齢になられてもその勢いが衰えることは全くなかった。80歳になられた2012年（平成24年）以降の出版だけでも10冊以上に達している。

最後に出版された本は92歳時の令和7年5月31日に出版された「医と養生の400年、原三信とその時代（石風社刊）」という148頁に及ぶ立派な単行本である。講演活動についても、御逝去直前の10月12日に開催された「新老人の会」でシンポジウムの特別発言が予定されていたのであるが、残念ながら御入院中のためこれは実現できなかった。

令和7年11月8日に92歳で逝去された俳優仲代達矢氏は、「役者は棺の蓋が閉まるまで生涯修業です」といつも話しておられたということであるが、能登半島の地震で被災した能登演劇場での復興公演を6月に終えられたばかりでの御逝去であったと報じられている。

老いてもなお充実した人生を送る秘訣は、働き続けることを止めないということではないかと私は考えている。

早足で歩き続けながら

豊かな老後を送るためにには、前述のように若い時と同様の精神活動の維持に努めることに加えて、肉体的な衰えを防止するための努力も必要であろう。日常生活において、常に肉体的健康状態の維持に留意しながら行動しておられたのが原さんである。日常生活においても、常に早足で歩くことを意識させていた。

横断歩道の信号は老人を含めた日本人の平均歩

行スピードを勘案して「1秒間で1メートル歩く速さ」で設計されているということである。しかし原さんの歩行スピードはその倍の速度であったように思っている。階段を使って看護学校の2階、3階の講義室へ移動する時には、いつも2段跳びで登っておられた。私は原さんより7歳年下なのであるが、いつも付いていくのに四苦八苦しめていたものである。

食事の時も、「最初に野菜から食べましょう」というのが原さんの口癖であった。野菜で最初に満腹中枢を刺激して食事の絶対量を少なくしようというお考である。そして「そのような行動の大切さ」をあらゆる手段を用いてキャンペーンしておられた。

豊かな老後を送ることを考える時、原さんから教えられた数々のこととは私の貴重な財産である。

ペガサスに跨ったつもりで

私はほすぴたる1月号のLetterのテーマと年賀状のデザインに関しては、その年の干支に関係するものを取り上げることを恒例としてきた。しかし12年前のLetterで、今年の干支である丙午ひのえうまについては執筆してしまったので、干支について新しく書く材料がなくなってしまった。

米寿を迎えた機会を捉えて、干支に代えて「老い」について書き始めた文章が、結果的には3年前に逝去された恩師井口潔先生と昨年10月に逝去された畏友原寛原看護専門学校理事長の追悼文のような内容になってしまった。御二人の影響力の大きさを改めてしみじみと感じている。

年賀状にはペガサスに私達夫婦の似顔絵を配した絵を、横浜市在住の漫画家 はまのらま氏（義姉の長男であるので私達の甥に当る人物）に描いて貰った。ペガサスは古代人が考え出した究極のハイブリッドカーであると私は考えているので、米寿を迎えた午年の1年間を「ペガサスに跨った気持ちで駆け抜けたい」と思ったからである。そのまま天国まで駆け上ってしまうかも知れないが、それはそれで大変幸福なことであると思っている。

何ともまとまりのない新年号のLetterとなってしまったが御笑覧いただければ幸いである。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

人体旅行記 胴（その二）

国立病院機構都城医療センター
院長 吉住 秀之

日本では頭、手足と区別される体の部分としての胴を意味する「むくろ」という言葉が古くから使われていました。現在むくろ（骸）という言葉は、もっぱら死体を意味する言葉となっていますが、以前は生死に関わらず軀幹を意味していました。例えば平家物語の四の巻鶴の段では、「頭は獣、むくろは狸、尾はくちなは、手足は虎」とあり、「むくろ」は単に胴体を指しています。ところが戦記物語において討ち取った武者を斬首して首実検をすることから、手柄に直結する頭が重要視されるようになります。その結果頭を切り離された死体の胴体を「むくろ」と呼ぶようになります。やがて頭部の有無については顧慮されなくなり、魂が脱けたものとして、「むくろ＝死骸」の意味が確立していきます¹⁾。現代では、例えば、

好きな女の所に行けないことが、人間生身のままで殺されると分ったのだ。ここに居むくろたのではいきながらの骸だ。

（松本清張『海嘯』）

という具合に使われます。

結局、軀幹部に相当する言葉として、「大腸」を意味する漢語の「胴」が当てられることになりました。古代から死体の意味を担ってきた和語としては「かばね」があります。

海行かばみづく屍山行かば草むす屍大君の
辺にこそ死なめ （万葉集4094）

その後漢語の「死（屍）骸」「遺骸」が死体を指す言葉として定着していきます。現刑法では、即物的に「死体」と呼んでいますが、死んだからといって、すぐ「もの」扱いになるわけではないので、一般には死体に敬意、敬弔の意を表し「遺体」と呼びます。臨床の現場では、さらに「遺体」に「ご」をつけて「ご遺体」と呼んでいます²⁾。近年ペットは家族とみなされるようになってきていますが、愛犬や愛猫が死んだときに葬儀会社は「ご遺体」と呼ん

でいるのでしょうか。

「かばね」は死体の直接的表現であることから、それを忌み嫌い魂（古語でいう「たま」）の脱けた「から（殻）」と婉曲的に表現されるようになります。ここから遺体としての「からだ」という言葉が使われるようになります。「むくろ」が最初生死にかかわらず使われ、次第に死体の意味に限定される方向で使われるようになったのとは対照的に「からだ」は死んだものに限定されず、身体一般を指す言葉として用いられるようになります。その後を埋めるようになった言葉として「なきがら（亡骸）」があります。

文芸評論家の江藤淳が自殺した際の遺言には「脳梗塞の発作に遭いし以来の江藤淳は形骸に過ぎず」と記されました。頭脳明晰な彼にとって、麻痺のため思いのままにならない体は、亡骸のようなものだったのでしょう。脳血管障害による死亡率は減少しましたが、このような苦しみを抱える人がいなくなるよう今後神経機能を回復させる医療がますます発展することを切に祈ります。

- 1) 首実検の対象となる武将とその必要もない雑兵の死体の区別は論功行賞で大切なことでした。合戦で討ち取った敵の頭（いわゆる「首」）も真っ先に討ち取ったものを「一番首」、大物の敵の首を「よき首」と称して首にも格付けがされていました。その実績は「首帳付」という役人が記録して、論功行賞が行われるシステムでした。いつの世も現場の人間には実績評価がついてまわっていたのですね。源平合戦の時代の白兵戦から足軽が登場してくる戦国時代にかけて鉄砲などの火器による戦闘へと変わることで、敵の死体の価値はどう変化したのか興味深いところです。
- 2) 以前亡くなった患者のご遺族に剖検の依頼をする際に、何事も経験だからと同席した研修医に説明させたところ、「死体を切り刻んで精査し」と切り出され仰天したことがあります。

私のリフレッシュタイム

医療法人小倉蒲生病院

看護師 安武 竜太

私は、看護師として勤めること15年、また同時に精神科看護師として15年が経とうとしています。

看護師の仕事は、患者さんの命に係わる業務のため、常に高い緊張感を保ちつつ、ミスが許されないプレッシャーなど責任感の重みがあり、またシフト制で不規則な勤務時間など肉体的な疲労も大きいと言われています。

どんな仕事であってもストレスはつきものです。仕事で最高のパフォーマンスを出すにはやはり自分自身健康であり、また休日にどうリフレッシュしているかというの私自身大切なことだと感じております。

そんな私の現在のリフレッシュはゴルフです。職場の先輩、地元の友人、看護学校時代の同級生など少ない人数ですが一緒にゴルフ場でラウンドすることがすごく楽しく心身のリフレッシュとなっています。ちなみにゴルフとの出会いは入職時、当時の師長に誘われて始めたのがきっかけです。思い返すと私は、幼少期から体を動かすことが好きで、小学生の頃はミニバスケットボール、中学生の頃は陸上、高校生の頃はサッカーと様々なスポーツに触れ汗を流してきました。その他、北九州マラソンを仲間とともに完走したり、行橋から別府の100キロウォークを完歩したりもしました。年は取れど、私は兎にも角にも体を動かす事が好きなのでしょう。

話はゴルフに戻します。私がゴルフを始めたのは入職と同時なのでかれこれ15年になります。

す。始めたころは、止まったボールにも関わらず右に左に山に崖にと飛んでいきます。しかし、先輩方に迷惑をかけるわけにもいかず山であろうが、崖であろうが若かりし頃に鍛えた脚力で駆け上がっていったものです。しかしながら、最近ようやくまっすぐに飛ぶようになってきて更に楽しくなってきています。(YouTubeには色々な動画や先生がいますので参考にさせてもらっています) ベストスコアは98と、やっている方にしてみればたいした腕前ではないことはお分かりでしょうけども。しかし、やっている方に言わせると一番おもしろい時期だそうです。ラウンドの日は5時起きだろうが目覚まし時計は必要ありません。気持ちが高ぶります。なかなかうまくいかない事の方が多いですが、これが私の最高のリフレッシュタイムとなっています。

ちなみに、私は病棟看護師でもあるため、勤務は不定期なので平日休みがほとんどです。その平日だと休日料金に比べて半額程度で行けるのもひとつお得に感じられるポイントです。



◎ 福岡県私設病院協会

令和7年11月～12月の動き

◎ 令和7年度 第8回理事会

日 時 11月11日（火）午後4時〈会議室〉

議 題

1. 会長あいさつ
2. 協議事項
 - (1) 会員異動について
 - (2) 研修会について
 - (3) 地域医療構想について
 - (4) 役員の活動状況の福私病ニュースへの掲載について
3. 会議報告
4. 報告事項
 - (1) 私設病院協会 (2) 看護学校
 - (3) 医療関連協業組合 (4) 全日病、日慢協、日医法人協 他連絡
 - (5) その他

議 題

1. 協議事項
 - (1) 11月研修会の振り返り
 - (2) ストレスマネジメント、新人スタッフ・管理職スタッフのメンタルヘルス
 - (3) 患者、家族からの暴力やハラスメント対策について
2. 報告事項

◎ 総務委員会

日 時 12月9日（火）午後3時15分〈会議室〉

議 題

1. 協議事項
 - (1) 空調設備の更新について
 - (2) その他

◎ 事務長会運営委員会

日 時 11月20日（木）午後3時〈会議室〉

議 題

1. 協議事項
 - (1) 職場環境について
 - (2) 地域医療構想に関する情報交換
2. 報告事項

◎ 広報委員会

日 時 12月9日（火）午後3時45分〈事務室〉

議 題 福私病ニュースの編集について 他

◎ 11月研修会〈参加数 78名〉

日 時 11月26日（水）午後3時

〈警固神社社務所ビル5階 嘉辰〉

演 題 「地域包括ケア時代の民間病院の役割～多職種協働フラット型チーム医療で『治し支える医療』への転換を本格化～」

講 師 社会医療法人祐愛会 織田病院
理事長 織田 正道 氏

◎ 看護部長会運営委員会

日 時 12月5日（金）午後3時〈会議室〉

◎ 令和7年度 第9回理事会

日 時 12月9日（火）午後4時〈会議室〉

議 題

1. 会長あいさつ
2. 協議事項
 - (1) 会員異動について
 - (2) 研修会について
 - (3) 地域医療構想について
 - (4) 役員の活動状況の福私病ニュースへの掲載について
3. 会議報告
4. 報告事項
 - (1) 私設病院協会 (2) 看護学校
 - (3) 医療関連協業組合 (4) 全日病、日慢協、日医法人協 他連絡
 - (5) その他

■福岡県病院協会だより

● 第99回理事会報告

日 時 令和7年12月2日(火) 16:30~16:50

場 所 オリエンタルホテル福岡

博多ステーション 2F フェスタ

出席者(敬称略)

副会長 平

理 事 壁村専務理事、岩永総務理事、伊東財務
理事、中房企画理事、岩崎、大村、志波、
谷口(修)、谷口(雅)、津留、中尾、松浦、
本村、山下、横倉、渡邊

計17名(理事総数22名)

監 事 野村、楠原

副議長 樋口

I 行政等からの通知文書

壁村専務理事から、特に報告等を要するものはないとの報告があった。

II 公益目的事業関係

1 報告事項

(1) 各種委員会・研修会関係

【開催結果】

ア 第66回診療情報管理研究研修会

岩崎担当理事から、報告があった。

日 時 令和7年9月22日(月)

場 所 九州大学医学部百年講堂 1F

大ホール

参加者 108名

講演1 「病院経営を考える」

講師 九州大学病院

病院長特任補佐 西山 謙

座長 株式会社麻生飯塚病院

院長 本村 健太

講演2 「飯塚病院における健全経営への取り組み」

講師 株式会社麻生飯塚病院

経営企画室 副室長 原田 智史

座長 国立病院機構九州医療センター

院長 岩崎 浩己

シンポジウム 「聞きたい、教えたいDPC」

1) 診療情報管理士が行うDPC監査による病院経営への影響について

国立病院機構九州医療センター

医療情報管理センター

医療情報管理係長 皆元 麻里加

2) 当院のDPC管理について

株式会社麻生飯塚病院

診療情報管理室 中嶋 るみ

3) 経営改善に向けてDPCの面から出切
る事

福岡県済生会福岡総合病院 DPCマネ

ジメント室 室長 土橋 佳代子

座長 福岡県済生会八幡総合病院

医事課 課長 塩塚 康子

社会医療法人シマダ 嶋田病院

診療支援部 部長 今村 知美

全体質疑応答

司会 医療法人原三信病院

企画情報室 診療情報管理課

課長 長峰 麻衣子

イ 第16回県民公開医療シンポジウム

岩永運営委員長から、報告があった。

日 時 令和7年9月27日(土)

14:00~16:00

会 場 アクロス福岡 国際会議場

参加者 80名(一般参加63、講師、役員等
10、スタッフ8)

テーマ 『健康で長生きするためのヒント
～あなたの体力、睡眠、そして肺
炎の予防は？～』

講演1 「フレー、フレー！フレイル知らず
の明るいシニア生活のために」
誠愛リハビリテーション病院

院長 長尾 哲彦

講演2 「良い睡眠のために」
国立病院機構福岡病院睡眠セン
ター 前センター長 中野 博

講演3 「肺炎とその予防」
産業医科大学病院 副病院長
産業医科大学 医学部

呼吸器内科学 教授 矢寺 和博

座長 公益社団法人福岡県病院協会

総務理事

久山療育園重症児者医療療育セン
ター センター長 岩永 知秋

質疑応答

ウ 第73回栄養管理研修会(Web開催)

岩永担当理事から、報告があった。

配信日 令和7年10月18日(土)

8 : 55 ~ 13 : 50
オンデマンド配信 令和 7 年 10 月 19 日(日)
~ 10 月 24 日(金)

開催方法 Web 配信 (Zoom ウェビナー)
参加者 53 名
テーマ 「高齢化社会を生き抜くために必要な多角的アプローチ」
講演 1 「緩和ケアにおける”食べる”の意味を見つめ直す」
講師 福岡大学病院 がんセンター
緩和ケア認定看護師 堀田 彩美
講演 2 「認知症の早期発見、早期関与」
講師 医療法人相和会中村病院
医師 森田 喜一郎
講演 3 「高齢糖尿病患者の食事・運動・薬物療法」
講師 医療法人輝栄会福岡輝栄会病院
糖尿病・肥満症センター
センター長 田尻 祐司

エ 第 174 回看護研修会
中房担当理事から、報告があった。
日 時 令和 7 年 10 月 24 日(木)
9 : 00 ~ 16 : 30
場 所 ナースプラザ福岡 1F「研修ホール」
共 催 公益社団法人福岡県看護協会
定 員 100 名
テーマ 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 (2024 年度改訂版、診療報酬加算対象)
研修内容
① 講 義 (DVD 視聴)
看護補助者の活用推進の背景／看護補助者の位置づけ／看護補助者との協働に関する基本的な考え方／業務実施体制の整備／看護職への教育体制の整備／看護補助者の労働環境の整備及び確保等／看護補助者の育成・研修・能力評価
② 演 習
看護補助者と協働のための体制整備に関する課題に対する対策案の作成

オ 第 2 回臨床検査委員会
谷口雅彦担当理事から、報告があった。
日 時 令和 7 年 10 月 30 日(木) 16 : 30 ~

場 所 TKP 博多駅筑紫口ビジネスセンター 302 会議室
議 題 1. 第 10 回臨床検査研修会 (令和 8 年 3 月 7 日(土)) の開催について

カ 第 10 回病院研修会
壁村委員長から、報告があった。
日 時 令和 7 年 11 月 6 日(木) 18 : 00 ~ 20 : 15 (受付開始 17 時 30 分)
会 場 西鉄イン福岡 2F 大ホール
参加者 112 名
テーマ 「病院経営苦難の時代を乗り越える！」
講演 1 『VUCA の時代の医療経営』
講師 一般社団法人日本病院会 副会長
社会医療法人天神会新古賀病院
総病院長 島 弘志
座長 社会医療法人財団白十字会白十字病院 病院長 渕野 泰秀
講演 2 『攻めながらソフトランディング』
講師 佐賀県病院協会 会長
社会医療法人祐愛会織田病院
理事長 織田 正道
座長 公益社団法人福岡県病院協会 理事
医療法人西福岡病院 院長
渡邊 憲太朗
講演 3 『不確実性の時代：3 つの視点で生き残れ！「病床管理 PFM」「戦略的増患」「働き方改革」～筋肉質医療とデータ活用術～』
講師 (株)グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン
コンサルティング部門
シニアマネジャー 塚越 篤子
座長 公益社団法人福岡県病院協会
専務理事
福岡県済生会二日市病院 院長
壁村 哲平

キ 令和 7 年度診療情報管理研究研修会第 2 回
グループワーク研修会
岩崎担当理事から、報告があった。
日 時 令和 7 年 11 月 19 日(水)
14 : 00 ~ 17 : 00
場 所 九州大学医学部百年講堂
参加者 30 名

内 容

○概 略

各医療機関の診療情報管理の担当者を対象とし、複数のグループにわけ、悩み・課題を経験含めて解決策を検討・議論する。

○目 的

各医療機関では1人担当者が多く、医療機関を超え、福岡での仲間を通し、運用・ルールづくりでの意見交換、アドバイスをもらい、日々の業務に反映せきるよう勉強できる環境を目指す。

○カテゴリー

診療録全般、適時調査・病院機能評価、診療録監査、情報二次利用
医事と診療情報（DPC含む）、電子カルテ

【開催予定】

- ア 第22回リハビリテーション研修会
横倉担当理事から、説明があった。
日 時 令和7年12月20日（土）
12:55～16:00（受付開始12:30）
会 場 西鉄イン福岡 2F 大ホール
基調講演 「がん共生時代のがん患者へのリハビリテーション医療地域包括ケアにおけるそれぞれの役割－活動を育む－」
講師 社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院リハビリテーション科
診療部長 相良 亜木子
座長 福岡県病院協会リハビリテーション委員会委員長
久留米大学リハビリテーションセンター センター長
教授 松瀬 博夫
シンポジウム 「がんの共生時代に求められる地域リハビリテーションの役割と実践」
座長 福岡県病院協会リハビリテーション委員会委員
国立病院機構福岡東医療センター 院長 中根 博
(1) 「がん患者さんを支えるリハビリテーション～看護師の視点から～」
講師 国立病院機構福岡東医療センター 看護部長・がん専門看護師
土井 晴代

(2) 「地域連携におけるがんリハビリテーション」

講師 久留米大学病院 リハビリテーション部 理学療法士
中村 光希

(3) 「その人らしい生活を支援する地域リハビリテーション～作業療法士の視点から～」

講師 医療法人原三信病院
リハビリテーション科
理学療法士 黒木 勝仁

(4) 「がん患者と地域をつなぐ～ソーシャルワーカーの視点から～」

講師 国立病院機構九州がんセンター
ソーシャルワーカー
松尾 由佳

イ 第175回看護研修会：認知症看護実践力向上研修Ⅶ（診療報酬加算対象）

山下担当理事から、説明があった。

日 時 令和8年1月28日（水）

10:00～15:30

令和8年1月29日（木）

9:00～16:30

場 所 九州大学医学部百年講堂 中ホール

定 員 162名

研修内容 認知症の原因疾患と病態・治療／入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術／コミュニケーションの方法及び療養環境の調整方法／行動・心理症状（BPSD）／認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援／在宅に向けた看護・介護連携、退院支援など

III 収益目的事業、法人関係

1 報告事項

(1) 各種委員会・研修会関係

【開催結果】

ア ほすびたる編集委員会

壁村専務理事から、報告があった。

日 時 令和7年11月11日（火）17:45

場 所 福岡県医師会館 2F 事務局とWEBのハイブリッド

議 題 1. 11月号の現況について

2. 1月号の編集計画について
3. 令和8年年賀広告の掲載について

【開催予定】

ア ほすびたる編集委員会

壁村専務理事から、説明があった。

日 時 令和8年1月13日(火) 17:45

場 所 福岡県医師会館 2F 事務局と WEB
のハイブリッド

議 題 1. 1月号の現況について
2. 3月号の編集計画について
3. 令和8年度表紙の色について
4. 令和8年度「ほすびたる」
制作・出版契約について

(2) 第1回臨時理事会(みなし理事会)の議事
録について

壁村専務理事から、中村会長承諾を得てい
ると報告があった。

(3) 9月、10月の収支報告について
伊東財務理事から、報告があった。

(4) 会員変更について

社会医療法人北九州病院 北九州総合病院
(北九州市小倉北区)

ながたなお 永田直幹 前院長 → ひぐれあいいちろう 日暮愛一郎 院長
医療法人井上会 篠栗病院 (糟屋郡篠栗町)
じんのうちじゅうざぶ 陣内重三 前院長 → じんのうちゆうこ 陣内裕子 院長

田川市立病院(田川市)
まつぐまたつと 松隈哲人 前院長 → あらき まさる 荒木 優 院長

壁村専務理事から、報告があった。

(5) 任期満了に伴う福岡県構想区地域医療構想
調整会議の委員の推薦について

壁村専務理事から、任期満了に伴い福岡県
から後任の委員の推薦依頼があったため、
五役会で協議し下表のとおり推薦したとの
報告があった。

(6) 協会けんぽバイオシミラーセミナーの後援
について(依頼)

壁村専務理事から、協会けんぽから後援依
頼があったもので、五役会で協議し、後援
を許可したとの報告があった。

2 協議事項

(1) カネミ倉庫(株)との油症治療費の支払いに
関する契約について

壁村専務理事から同社からの願い出につい
て説明が行われ、契約更新を行うことが承
認された。

構想区域名	所属・役職	役職等	新委員名	新規・継続
県 全 域	九州大学病院 病院長	会 長	中村 雅史	継 続
福岡・糸島	福岡赤十字病院 院長	企 画 理 事	中房 祐 司	新 規
柏 屋	国立病院機構福岡東医療センター 院長	会 員	中根 博	継 続
宗 像	宗像医師会病院 院長	財 務 理 事	伊東 裕 幸	継 続
筑 紫	福岡県済生会二日市病院 院長	専 務 理 事	壁村 哲 平	継 続
朝 倉	朝倉医師会病院 院長	理 事	志波 直 人	継 続
久 留 米	久留米大学病院 院長	副 会 長	野村 政 壽	継 続
八女・筑後	公立八女総合病院 企業長・院長	会 員	田中 法 瑞	継 続
有 明	国立病院機構大牟田病院 院長	会 員	川崎 雅 之	継 続
飯 塚	飯塚病院 院長	理 事	本村 健 太	継 続
直方・鞍手	医療法人相生会宮田病院 院長	会 員	中山 真 一	継 続
田 川	一般財団法人福岡県社会保険医療協会 名誉院長	(会員病院)	田中 裕 穂	継 続
北 九 州	国立病院機構小倉医療センター 名誉院長	理 事	山下 博 徳	継 続
京 築	医療法人博愛会京都病院 顧問	(会員病院)	岡松 秀 一	継 続

3 行事予定

壁村専務理事から、報告があった。

(1) 令和7年12月

ア 第15回参与・各種委員会正副委員長・役員懇談会

日 時 令和7年12月2日(火)

17:00～※理事会から引き続き

会 場 オリエンタルホテル福岡

博多ステーション

※懇親会開催

イ 第22回リハビリテーション研修会

日 時 令和7年12月20日(土)12:55

～16:00(受付開始12:30)

会 場 西鉄イン福岡 2F 大ホール

(2) 令和8年1月

ア ほすびたる編集委員会・五役会

日 時 令和8年1月13日(火)

①17:45～ほすびたる編集委員会

②18:00～五役会

場 所 福岡県医師会館事務局(ほすびたる編集委員会はハイブリッド)

イ 第29回四県病院協会連絡協議会について
日 時 令和8年1月23日(金)15:00～
場 所 ホテルグランヴィア岡山

ウ 第175回看護研修会【認知症看護実践力向上研修会】

日 時 令和8年1月28日(水)

～1月29日(木)

場 所 九州大学医学部百年講堂 中ホール

(3) 令和8年2月

ア 五役会

日 時 令和8年2月10日(火)18:00～

場 所 福岡県病院協会事務局

イ 令和7年度診療情報管理研究研修会第3回
グループワーク

日 時 令和8年2月19日(木)

14:00～17:00

場 所 九州大学医学部百年講堂

ウ 第100回理事会

日 時 令和8年2月24日(火)16:00～

場 所 福岡県中小企業振興センター

501号室

一番大切な思いやり…
「安心・安全・清潔」



医療関連
サービスマーク認定

太陽セランドグループ会社

『太陽セランドホールディングス株式会社』『太陽セランド株式会社』『太陽シルバーサービス株式会社』『ジャパンエアマット株式会社』『株式会社北九州シーアイシー研究所』

TAIYO 太陽セランドグループ

太陽セランドホールディングス株式会社

〒812-0044 福岡市博多区千代1-1-5
TEL 092-641-2578 FAX 092-641-5778

太陽セランド株式会社

〒826-0042 福岡県田川市大字川宮1200
TEL 0947-44-1847 FAX 0947-44-5805

代表取締役 社長 中島 健介

お問い合わせ TEL 0947-44-1847 Mail info@taiyoseland.co.jp Web http://www.taiyoseland.co.jp



謹賀
新年
2026

九州大学病院
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

〒 812-8582
福岡市東区馬出 3 丁目 1 番 1 号
電話 (092) 641-1151 FAX (092) 642-5008
URL <https://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>



福岡大学病院
Fukuoka University Hospital

病院長 三浦伸一郎

〒 810-0180
福岡市城南区七隈七丁目 45 番 1 号
電話 (092) 801-1011 FAX (092) 862-8200
URL <https://www.hop.fukuoka-u.ac.jp>



久留米大学病院
KURUME UNIVERSITY HOSPITAL

病院長 野村政壽

〒 830-0011
久留米市旭町 67 番地
電話 (0942) 35-3311 FAX (0942) 32-6278
URL <https://www.hosp.kurume-u.ac.jp>
E-mail kanrika@kurume-u.ac.jp



産業医科大学病院

Hospital of the University of Occupational and Environmental Health, Japan

病院長 田中文啓

〒 807-8556
北九州市八幡西区医生ヶ丘 1 番 1 号
電話 (093) 603-1611 代 FAX (093) 691-8892
URL <https://www.uoeh-u.ac.jp/hospital.html>

医療法人 原三信病院
Harasanshin Hospital

理事長 平祐二
院長 原直彦

〒 812-0033
福岡市博多区大博町 1 番 8 号
電話 (092) 291-3434 FAX (092) 291-3424
URL <https://www.harasanshin.or.jp/>



社会福祉法人 恩賜済生会支部
福岡県済生会二日市病院

院長 壁村哲平

〒 818-8516
筑紫野市湯町三丁目 13 番 1 号
電話 (092)923-1551 FAX (092)924-5210
URL <https://www.saiseikai-futsukaichi.org>



地方独立行政法人 北九州市立病院機構
北九州市立医療センター
Kitakyusyu Municipal Medical Center

理事長 中西洋一
院長 中野徹

〒 802-8561
北九州市小倉北区馬借二丁目 1 - 1
電話 (093)541-1831 FAX (093)533-8693
URL <https://www.kitakyu-cho.jp>
E-mail byou-iryou-kanri@kitakyu-cho.jp



福岡ハートネット病院
FUKUOKA HEARTNET HOSPITAL

病院長 樋口雅則

〒 819-0002
福岡市西区姪の浜 2 丁目 2-50
電話 (092)881-0536
FAX (092)883-8761
URL <https://heartnet.hp.jp>



当院のホームページ



社会福祉法人 バプテスト心身障害児(者)を守る会
久山療育園重症児者医療療育センター

理事長 宮崎信義
センター長 岩永知秋

〒 811-2501
福岡県糟屋郡久山町大字久原 1869
電話 (092)976-2281
FAX (092)976-2172



福岡赤十字病院

日本赤十字社

院長 中房祐司

〒 815-8555
福岡市南区大楠 3 丁目 1 番 1 号
電話 (0570)03-1211 FAX (092)522-3066
URL <https://www.fukuoka-med.jrc.or.jp/>



国家公務員共済組合連合会
新小倉病院

病院長 塚本浩

〒 803-8505
北九州市小倉北区金田 1 丁目 3 番 1 号
電話 (093)571-1031 FAX (093)591-0553
URL <https://shin-kokura.or.jp>
E-mail kkr-shinkokura@shin-kokura.gr.jp



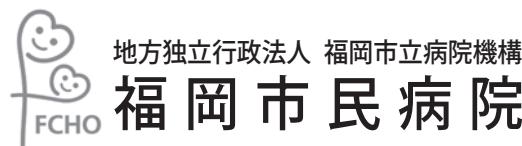
院長 松尾 義孝

〒 813-0002
福岡市東区下原 2 丁目 24 番 36 号
電話 (092)662-3200 FAX (092)662-3303
URL www.kashii-rh.net
E-mail info@kashii-rh.net



院長 蒲池 浩文

〒 811-0213
福岡市東区和白丘 2-2-75
電話 (092)608-0001 FAX (092)607-3051
URL <https://www.f-wajirohp.jp>



病院長 堀内 孝彦

〒 812-0046
福岡市博多区吉塚本町 13 番 1 号
電話 (092)632-1111 FAX (092)632-0900
URL <https://shiminhp.fcho.jp>
E-mail s-keiei@fukuoka-city-hp.net



理事長 原祐一
院長 野村秀幸

〒 813-8588
福岡市東区青葉六丁目 40 番 8 号
電話 (092)691-3881 FAX (092)691-1059
URL <https://www.haradoi-hospital.com>



病院長 富田昌良

〒 819-1112
福岡県糸島市浦志 532 番地 1
電話 (092)322-3631 FAX (092)322-1206
URL <https://itomedhp.jp>



理事長 西野豊彦

〒 820-0206
福岡県嘉麻市鴨生 532 番地
電話 (0948)42-1114 FAX (0948)42-4790



社会医療法人水光会
宗像水光会総合病院
MUNAKATA SUIKOKAI GENERAL HOSPITAL

理事長 津留英智
院長 田山慶一郎

〒811-3298
福岡県福津市日蒔野5丁目7番地の1
電話 (0940)34-3111 FAX (0940)43-5981
URL <https://www.suikokai.or.jp>



医療法人社団 江頭会
さくら病院
ESH

理事長 江頭啓介
院長 江頭省吾

〒814-0143
福岡市城南区南片江6丁目2番32号
電話 (092)864-1212 FAX (092)865-4570
URL <http://www.sakurahp.or.jp/>



福岡県立精神医療センター
太宰府病院
Fukuoka Prefectural Psychiatric Center Dazaifu Hosupital

院長 小嶋享二

〒818-0125
福岡県太宰府市五条3丁目8番1号
電話 (092)922-3137 FAX (092)924-4060
URL <https://www.dazaifu-hsp.jp/>
E-mail info@dazaifu-hsp.jp



医療法人**つくし会病院**

理事長 中村奎吾
院長 野本健一

〒816-0902
大野城市乙金3丁目18番20号
電話 (092)503-2261 FAX (092)503-2474
URL <http://tsukushikai.com/>
E-mail general-tsukushikai@awa.bbiq.jp



公立学校共済組合
九州中央病院
Kyushu Central Hospital

病院長 北園孝成

〒815-8588
福岡市南区塩原三丁目23番1号
電話 (092)541-4936 FAX (092)541-4540
URL <https://www.kyuchu.jp>



地方独立行政法人 福岡市立病院機構
福岡市立こども病院
Fukuoka Children's Hospital

院長 楠原浩一

〒813-0017
福岡市東区香椎照葉5丁目1番1号
電話 (092)682-7000 FAX (092)682-7300
URL <https://childhp.fcho.jp>



福岡大学西新病院 Fukuoka University Nishijin Hospital

病院長 山本 卓明

〒 814-8522
福岡市早良区祖原 15 番 7 号
電話 (092)831-1211 FAX (092)831-3398
URL <https://www.nishijin.fukuoka-u.ac.jp>



学校法人 福岡学園 福岡歯科大学 医科歯科総合病院 FUKUOKA DENTAL COLLEGE Medical & Dental Hospital

理事長 水田 祥代
病院長 鳥巣 浩幸

〒 814-0193
福岡市早良区田村 2 丁目 15 番 1 号
電話 (092)801-0411 FAX (092)801-0459
URL <https://h.fdcnet.ac.jp>
E-mail byouin@fdcnet.ac.jp



医療法人 成康会

堤小倉病院

理事長 堤 康博

〒 802-0835
北九州市小倉南区大字堀越 358 番地
電話 (093)962-1950 FAX (093)963-1075
URL <https://tsutsumikokura.com/>
E-mail horiko@lime.ocn.ne.jp



医療法人社団 筑山会 松岡病院 Matsuoka

理事長 松岡 嘉勝
院長 古賀 宣治

〒 821-0012
福岡県嘉麻市上山田 1287
電話 (0948)52-1105 FAX (0948)52-1926
URL <http://www.chikuzankai.com/>



宗像医師会病院 MUNAKATA MEDICAL ASSOCIATION HOSPITAL

院長 伊東 裕幸

〒 811-3431
福岡県宗像市田熊五丁目 5 番 3 号
電話 (0940)37-1188 FAX (0940)37-0016
URL <http://www.mmah.jp>



創立 71 周年 (1955 年創立) 救急病院 開放型病院 臨床研修病院指定 医療法人 西福岡病院 日本医療機能評価機構認定病院 (3rdG:Ver2.0)

理事長 安藤 真理子
院長 渡邊 憲太朗

〒 819-8555
福岡市西区生の松原 3 丁目 18 番 8 号
電話 (092)881-1331 FAX. (092)881-1333
URL <https://nishifukuhp.or.jp>



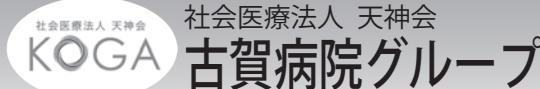
病院長 谷 口 修 一

〒 810-8539
福岡市中央区長浜3丁目3番1号
電話 (092)721-0831 FAX (092)714-3262
URL <https://hamanomachi.kkr.or.jp>
E-mail info@hamanomachi.jp



院長 定 永 倫 明

〒 810-0001
福岡市中央区天神一丁目三番四六号
電話 (092)771-8151 FAX (092)716-0185
URL <https://www.saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp>
E-mail byoin@saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp



理事長 古 賀 伸 彦

〒 830-8577
福岡県久留米市天神町 120
電話 (0942)38-2222 FAX (0942)38-2255
URL <https://www.tenjinkai.or.jp>



院長 田 中 法 瑞

〒 834-0034
福岡県八女市高塚 540 番地 2
電話 (0943) 23-4131 / FAX (0943) 22-3185
URL <https://www.hosp-yame.jp>



理事長 陣 内 重 三
院長 陣 内 裕 子

〒 811-2416
福岡県糟屋郡篠栗町田中 1 丁目 10 番 1 号
電話 (092)947-0711 FAX (092)947-0715
URL <http://www.sasaguri.or.jp>
E-mail info@sasaguri.or.jp



田川市立病院
田川市 病院事業管理者 鴻 江 俊 治
病院長 荒 木 優

〒 825-8567
福岡県田川市大字楠 1700 番地 2
電話 (0947)44-2100 FAX (0947)45-0715
URL <https://hospital.city.tagawa.fukuoka.jp>
E-mail shirtsubyoin@lg.city.tagawa.fukuoka.jp



医療法人相生会 金隈病院

院長 田中洋輔

〒 812-0863
福岡市博多区金の隈 3 丁目 24 番 16 号
電話 (092)504-0097 FAX (092)504-1502
URL <https://kanenokuma-hp.jp>



公益社団法人 地域医療振興協会 飯塚市立病院

管理者 武富章

〒 820-0088
福岡県飯塚市弁分 633 - 1
電話 (0948)22-2980 FAX (0948)24-3812
URL <https://iizukacityhp.jp/>



理事長 中尾一久
院長 永田剛

〒 830-0054
福岡県久留米市藤光町 965 番地 2
電話 (0942)51-3838 FAX (0942)51-3535
URL <https://www.kyueikai.jp>
E-mail kouradai-web@kyueikai.jp



社会医療法人 雪の聖母会

理事長 井手義雄

聖マリア病院

病院長 谷口雅彦

〒 830-8543 福岡県久留米市津福本町 422 番地
電話 (0942)35-3322 FAX (0942)34-3115
URL <https://www.st-mary-med.or.jp/top.php>

聖マリアヘルスケアセンター

病院長 井手睦

〒 830-0047 福岡県久留米市津福本町 448 番 5
電話 (0942)35-5522 FAX (0942)34-3306
URL <https://www.st-mary-health.jp>



理事長 横倉義武
院長 横倉義典

〒 839-0215
福岡県みやま市高田町濃施 480 番地 2
電話 (0944)22-5811 FAX (0944)22-2045
URL <https://yokokura-hp.or.jp>
E-mail info@yokokura-hp.or.jp



理事長 杉健三
院長 大内田昌直

〒 837-0916
福岡県大牟田市大字田隈 950 - 1
電話 (0944)56-1119 FAX (0944)56-2077
URL <http://www.sugi-hosp.jp>



独立行政法人 国立病院機構
福岡東医療センター

院長 中根 博

〒811-3195
福岡県古賀市千鳥1丁目1番1号
電話 (092)943-2331 FAX (092)943-8775
URL <https://fukuokae.hosp.go.jp>
E-mail 605-shomu@mail.hosp.go.jp



医療法人 濟世会
河野名島病院
KAWANO NAJIMA HOSPITAL

理事長 河野正美
院長 津田泰夫

〒813-0043
福岡市東区名島4丁目28-53
電話 (092)681-5231 FAX (092)672-1525
URL <https://www.kawano-hp.com>
E-mail kawanonajima@kawano-hp.com

掲載は受付順にさせていただきました。

第23回 リハビリテーション研修会のご案内

日 時	令和8年3月9日(月) 受付 18:30~20:15
会 場	九州大学医学部百年講堂(福岡市東区馬出3丁目1番1号)
対象者	医師、看護師、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、管理栄養士、医事課職員、その他関係職員等
参加料	会員病院 1人につき 3,000円(資料代500円含む) 会員外病院 1人につき 4,500円(資料代500円含む)
定 員	300名(先着順)
申込締切	令和8年2月25日(水)
【基調講演】	19:00~20:00
「令和8年度診療報酬改定に向けたリハビリテーションの在り方」	
講師:	一般社団法人日本病院会 常任理事 日本病院団体協議会 診療報酬実務者会議 委員長 社会医療法人水光会 宗像水光会総合病院 理事長 津留英智先生
質疑応答	20:00~20:15

*お問合せは福岡県病院協会事務局(TEL 092-436-2312 / E-mail fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp)までお願いいたします。

駅やホームに広告を 掲載しませんか？

- 看板
- ポスター
- ホームページ制作
- WEB広告など

各種取り扱っておりますので
お気軽に弊社へ
ご相談ください



総合広告代理店

JR九州エージェンシー株式会社

福岡市博多区博多駅前3-8-10 九勧末広通りビル

📞 092-260-5062 (平日 9:00~17:00)

✉️ voice@jrkyu-ag.co.jp



編集後記

新年あけましておめでとうございます。
ほすびたる 782 号をお届けします。
本号の巻頭には、福岡県知事の服部誠太郎様、そして福岡県医師会会長の蓮澤浩明様より、年頭のご挨拶をいただきました。混乱する世相の中にあって、リーダーシップをもって対応されているお二人のお言葉は、心に深く響きました。お二人のますますのご活躍を祈念いたします。

さて、放送中の NHK の朝ドラ、「ばけばけ」の主題歌「笑ったり転んだり」は、次のような言葉から始まります。「毎日、難儀なことばかり～」。思わず、「うむ」と頷いてしまいます。この共感度は、年を重ねるほど強くなってくるように思えますが、皆様はどうでしょうか？ 年末に、京都のお寺で住職をされている友人と電話でお話しする機会がありました。

一時大病をされ、生死の狭間を彷徨ったこともあったそうですが、今は元気に回復されています。「仏さんが、まだしてもらうことがあるから、死ぬわけにいきませんよ、と言うてるんでしょう。もうひと頑張りせにやあかんようです」。と語っていました。同じような言葉が思い浮かびます。オーストリアの高名な精神科医ビクトール・フランクルの言葉です。あなたが、人生にしてほしいことではなく、人生があなたにしてほしいと思っていることを見つければ、「人生の意味」が理解できると言っています。意外と、毎日おこる難儀なことにそのヒントがあるのかもしれません。私の新年の課題です。

(岡嶋泰一郎 記)

ほすびたる

第 782 号

令和 8 年 1 月 20 日発行

発行 ◎ (公社) 福岡県病院協会

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 2 丁目 9 番 30 号
福岡県メディカルセンタービル 2F
TEL092-436-2312 / FAX092-436-2313
E-mail fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp
URL http://www.f-kenbyou.jp

編集発行人 ◎ (公社) 福岡県病院協会

制作 ◎ (株) 梓書院

〒812-0044 福岡市博多区千代 3-2-1
麻生ハウス 3F
TEL092-643-7075 / FAX092-643-7095
E-mail : mail@azusashoin.com

編集委員長…岡嶋泰一郎

編集副委員長…平祐二

編集委員…壁村 哲平・岩永 知秋
中房 祐司・伊東 裕幸
横倉 義典・大嶋 由紀

令和7年度第1回経営管理研究会のご案内

日 時 令和8年3月16日(月) 受付 13:30~15:45
会 場 九州大学医学部百年講堂 中ホール（福岡市東区馬出3丁目1番1号）
対象者 病院長、事務部長・看護部長、医事課長、その他職員等
参加料 会員病院 1人につき 3,500円（資料代500円含む）
会員外病院 1人につき 5,000円（資料代500円含む）
定 員 180名（先着順）
申込締切 令和8年3月9日(月)

講 演「新たな地域医療構想を踏まえた2026年度診療報酬改定のポイント」

講師：一般社団法人日本病院会 常任理事
日本病院団体協議会 診療報酬実務者会議 委員長
社会医療法人水光会 宗像水光会総合病院 理事長 津留 英智 先生

第125回 医療事務研究会のご案内

日 時 令和8年3月26日(木) 受付 18:30~20:15
会 場 九州大学医学部百年講堂 中ホール（福岡市東区馬出3丁目1番1号）
対象者 病院長、事務部長、医事課長、診療情報管理責任者、その他職員等
参加料 会員病院 1人につき 4,000円（資料代1,000円含む）
会員外病院 1人につき 5,500円（資料代1,000円含む）
定 員 180名（先着順）
申込締切 令和8年3月9日(月)

講 演「2026年診療報酬改定詳細と対応」

講師：保健・医療・福祉サービス研究会コンサルタント
診療介護報酬指導講師
株式会社リンクアップラボ 代表 酒井 麻由美 氏